

Let's enjoy!



ガーデニング

vol.11

初めての方の
ために作りました。



夏休みに収穫！ とうもろこしを作ろう！

とうもろこしは収穫して自分で植えて、
とれたての甘さを楽しみましょう。

特 徴

- 暑さに強い ☆☆☆☆☆
- 作りやすさ ☆☆
- 食物繊維が豊富

栽培するための条件

- 【日照】…………… 日なた
- 【必要スペース】…………… 株間30cm 以上
- 【連作障害】…………… 有(1~2年)
- 【コンテナ栽培】…………… 不可

● 育て方のポイント

- 排水の良い土壌を好みます。
- 実付きを良くするために、2条、3条植えをします。(2~3列)
確実に受粉させるために必ず、同じ品種を植える事が大事です。
- 雄穂が大きくなる時期は水分を必要とするので、乾燥したときはこまめに水やりをします。
- 風で苗が倒れないように、土寄せして根を多く張らせ、株元を支えられるようにします。
- 連作による障害は少ないですが、一度作ったら1、2年休みます。

● 栽培カレンダー

作業	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
植え付け				■								
追肥・間引き					■	■						
収 穫							■					

とうもろこしの作り方

畑で作る場合

準備するもの

とうもろこしの苗・苦土石灰・有機配合肥料・牛ふん堆肥・高度化成 48号・鉄・シヨベル

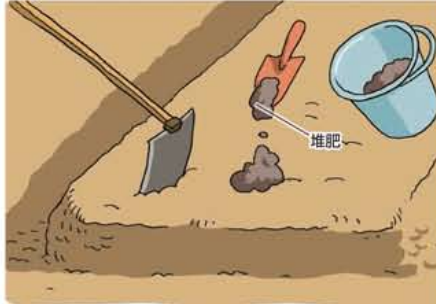
1 畑の準備

苗を植える2週間前に1㎡あたり100g程度の苦土石灰と3kg程度の牛ふん堆肥を入れて、できるだけ深く耕します。(30cm以上が最適です。)
幅90cm、高さ10~15cm程度の畝を作ります。

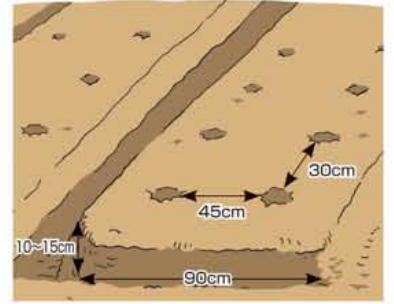
酸性の土を中和させるためには、
苦土石灰を施す。十分に土に混和させよう。



堆肥は1㎡当たり、バケツ半分くらいが目安。
乾燥時、風で土が舞うようなら、より堆肥を多めに施す



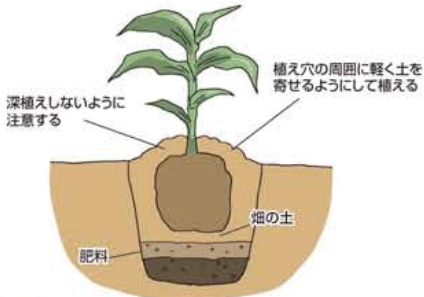
条間45cm、株間30cmで穴を掘ります



2 植え付け

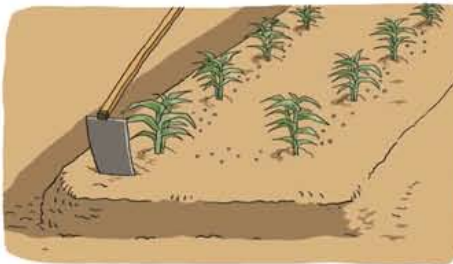
ポットより大きめの穴を掘り、有機配合肥料を30g程度を施し、畑の土を4~5cm程度かぶせ、根に直接肥料が当たらないように植え付けします。

※とうもろこしは、実付を良くするため、2条・3条植え(2列・3列植え)をします。
確実に受粉させるために、必ず同じ品種の苗を植えてください。



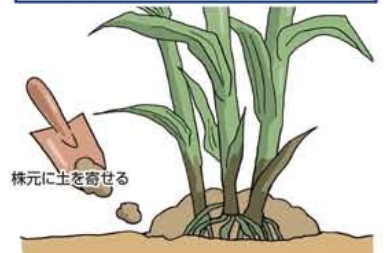
3 追肥

追肥は、草丈が40~50cm程度の時と70~80cm程度の時に高度化成48号を大さじ1杯程度、株と株の間に置くように、もしくは畝の肩にそって施します。



4 土寄せ

根を伸ばす為に、追肥を施す際、土寄せを行います。

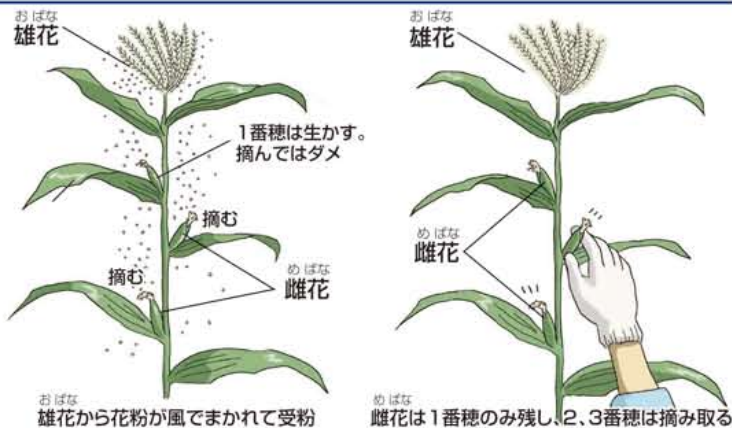


株元に土を寄せる

株元を埋めることで根がたくさん発生し、株をしっかりと支え、養分の吸収もよくなります。

5 摘果

1番穂のみを残し、2・3番穂はヒゲ(絹糸)が出る前に欠き取ります。
※摘み取った2・3番穂はヤングコーンとして利用できます。



6 収穫する

穂先に伸びるヒゲ(絹糸)が始めて3週間ぐらいすると、茶褐色になってきます。この頃が、収穫時期です。黒褐色になると遅すぎますので注意してください。



● 育てるために必要なものはグッデイで揃います！

